

# 長田会計事務所 通信 2018年9月号 Vol. 148

## 【TOPICS】

- 1P : ◇老子「上善の言葉」 ◇お仕事備忘録 ◇9月10月の勉強会のお知らせ  
2P-3P : ◇人の輪数珠つなぎ～株式会社釣太郎 湯川由弘氏インタビュー～  
4P : ◇未来へ続く道 ◇経営学のさわりのさわり  
5P : ◇未来そうぞう塾レポート  
6P : 長田会計事務所の〇〇なコト ◇豊の部屋 ◇今月のおやつ ◇編集後記

## 【発行者】

長田会計事務所  
大阪市中央区徳井町2-2-9-701  
TEL 06-6944-2111  
FAX 06-6944-2110  
Mail nagata@office-smile.jp  
HP http://office-smile.jp/

## 【編集部】

編集長 遠藤 悅代  
部 員 岡 拓海  
木下 心路  
長田 雅子  
発行責任者

## 老子「上善の言葉」

せい い  
生に出でて死に入る。



人はこの世に生まれ出て、死の世界へ入る。

宮下真著「心の疲れがすうっと消える 老子 上善の言葉」より引用

人はいのちを持ってこの世を生きます。いのちを守ることにすぐれた人は、いのちに執着することなく、死への恐れもない、無為自然の人です。いのちに感謝し、あるがままに生きることで、死に対する恐れは消えます。

人は過去にとらわれたり、未来に対して不安に思ったり、大きく期待をしてしまうことがよくあります。今を受け入れてできる限りの最善を尽くし、今を楽しむために自分をどう置けるかを考えながら行動することで、「いのちを守る」ことができるのではないでしょうか。



台風シーズンですので、防災や安全対策の見直しを図り、万が一に備えておくことも大切です。

- 1. 社会保険料 定時決定結果の反映（9月より）
- 2. 障害者雇用支援月間
- 3. 国民年金保険料の後納制度の終了
- 4. 内定式の準備
- 5. 防災や安全対策の見直し

## 2018年9月 お仕事備忘録

受講を希望される方は、お知らせください！  
(別紙のご案内もぜひご覧ください。)

## 9月10月の勉強会のお知らせ

### ●日経新聞の読み方・活かし方

日程：9月6日（木）13:30～15:30  
場所：長田会計事務所セミナールーム  
受講料：2,000円／お1人様

### ●決算書をさらりと読もう！活かそう！

日程：9月14日（金）13:00～17:00  
場所：長田会計事務所セミナールーム  
受講料：5,000円／お1人様

### ●おいしいコーヒーの淹れ方

日程：10月3日（水）13:30～15:30  
場所：長田会計事務所セミナールーム  
受講料：3,500円／お1人様

### ●今日から使えるエクセル講座

日程：10月12日（金）10:00～12:00  
場所：長田会計事務所セミナールーム  
受講料：2,000円／お1人様



弊所とお付き合いのある、元気な方をご紹介するコーナー。

2018年の第6回目は、和歌山県みなべ町、白浜町で3代100年余り続く釣り餌の小売店を経営されている株式会社 釣太郎 代表取締役 湯川由弘様です。

「会社の価値、個人の価値を出来るだけ高めて、発揮したい」とおっしゃる湯川社長。どんな想いで経営と向き合っておられるのかおききました。

長田所長（以下長） 普段はどんなお仕事をされていますか？

湯川社長（以下湯） 和歌山の田舎で釣り餌の小売店を24時間営業でやっています。何十種類もあって、活き餌から常温、冷凍のものまであるんやけど、和歌山の紀南で1番品揃えを豊富にしています。この仕事は祖父がスタートさせて、6,7年前に100周年を迎えた。今年で父が法人化して19年目になります。当時はリールもない中で、竹ざおで釣ってたんです。竹を割って、糸をつけて、放り投げてたんですけど、それでも今よりもはるかに釣れました。魚が多かったんです。今はかなり魚が減りましたね。10分の1とかかな。昔だと、漁師は市場までトラックで魚を持って来てたんやけど、今は手で持つていけるからね。漁師も相当厳しいですね。



長 なるほど。魚が住みやすいところが段々なくなってきたんですね。

湯 新聞記事で読んだんやけど、沿岸から離れた深海の魚をリサーチしたら、17%の魚にマイクロプラスチックが含まれてたと。17%よ。ということは浅瀬や近海ならどうなってしまうんやろう、簡単に2倍3倍になってしまふ。それぐらいマイクロプラスチックが含まれていて、それをまた人間が食べている。これまで海の天然の魚って重宝していたものが食べられなくなる可能性も出てきたなあと思います。海は生命の源やけど、その源が汚染されるっていうことは人類の危機に繋がるって言うことやな。

長 100年ですいぶん変わってしまったんですね。

## 仕事ほどその人の人間性を的確に表すものはない

長 お父様から引き継がれてここまで紆余曲折あったと思うのですが、一番嬉しかったことって何ですか？

湯 父の借金を完済できたことかな。結局25年借金背負った。あとは社員とベクトルがあったときは嬉しいね。例えば、こいつこんなこと考えてくれたんやとかね。仕事ほどその人の人間性を的確に表すものはないと思う。9割はあわないけどね。合うのは1割。社員にもよく言うてるんやけど、自分の言うことを3割もわかつてもらおうなんて考えるな、1割やで、言ってやってくれるのなんか。1割やってくれたら御の字や。そんなもんだよ、人に伝えるのは。人を動かすのはいかに大変か上に立ってはじめてわかるやろ。

長 そうですね。自分のことを全部分かってくれると思ったら大間違ですよね。やっぱり普段行っていることで、一緒に働いている人と価値観がピタッと合うときは嬉しいですよね。いたるところにご自身の言葉を貼っておられるのは意識的にですか？

湯 たまにでもいいから、ふとしたときに自分の大切にしている言葉が社員の目に入ってくれたらなあと思って。自分で見ても「あ、そうやった」って思えるように。稻盛和夫さんの「経営者が心構えを会社にそのまま反映させる」って言う言葉をロッカーに貼ってるんやけど、ぱっと見返すたびに自分でもほんまにそのとおりやなと思う。やっぱり経営者っていうのは逃げることはできん。



長 職場で目に見えるように貼る言葉はやはり大切にされている言葉ですよね。湯川社長が経営する上で、大切にされていることはどんなことですか？

湯 会社の価値、個人の価値っていうものを出来るだけ高めて、発揮したいっていうことが一番かな。これってそんなに簡単なことじゃなくて、紆余曲折、頭を打ちながら前へ前へと進まなきやならん。で、これっていうのは人が生きることそのままやと思うんよね。パッとあきらめたら楽なんやけど、価値がなくなるっていう話なんよね。すごいなあって言うてもらいたいのに、昨日と同じ行動しかしなければ言うてくれんやろ。



## 価値は10人いれば10人とも違う だからおもしろい

長 価値って言うのは、自分から見た価値か、他人から見た価値かで変わってくると思うんですけど、やっぱり自分の中の価値が大切だと思われますか？

湯 価値観っていうのは人によって違うんよね。例えばやけど、AKBが神様みたいに思ってる人もいるけど、おっさんからすれば隣の学校行つて子のほうが可愛いと思う。それが価値なんやろうね。価値は10人いれば10人とも違う。その価値が混在しているから、苦しみもおもしろみも生まれる。皆が皆成功者でもないし、皆が皆ノーベル賞をもらえるわけでもない。片やどうしようもないやつもおるけど、ここでバランスが取れてる。だからおもしろいんだと思います。



長 なるほど。社員さんにもこういう話をされるんですか。

湯 ミーティングとかで言うようにして。技術的な話もするんやけど、こういった話は根幹だと思うんですね。技を成す前に、どんな人なんかのほうが大事なんやなって思う。この言葉はよく言うね「人生から何を得るかを問い合わせ、得られるものは自らが投じたものによることを知ったとき、人は人として成熟する」これは僕が何度も配ったことがあるくらい思ってるドラッガーの言葉なんや。「人生から何を得たいかが分からないと手に入らないよ。欲しいものを手に入れるには代償が必要なんだよ」って話よね。

長 ほんまに大事なことだと思います。どんな人なのかなっていう人間性から知識やスキルといったものが成長したりすると思うので、やはり人間性が一番大切やと思います。

湯 人間性がなくて、パソコンだけが強い人がおったとして、はたしてどうなんだろうっていう話よね。

## 今までと同じことだけしてたら間違いなくあかん どこで個性を出すか

長 では最後に、会社の今後をどう考えておられますか？

湯 会社はやりようによつては人の寿命よりはるかに長く続けるんですね。それやつたらまだ可能性を追求してみたいなあと思って。そつちの方が価値になっていくなと思う。守るところはもちろん守つていかないかんのやけど、まだ攻めることが出来るんちゃうかな。



今YouTubeで24時間魚のLive動画とか30秒くらいの魚とか釣りの短い動画を配信しているんやけどね。魚って動くやん。だからある種の躍動感があるんやけど、こんな動画しようもないっていう人もいるし、おもしろいっていう人もいる。だけど、税理士だろうが釣り餌屋だろうが、今までと同じことだけしてたらまず間違いなくあかんね。どこで個性を出すかって話しやね。

長 そこにうまく時代の流れだと自分の長所を組み込むことが大事ですよね。そうやって変わっていけるところがずっと残るんじゃないかなって思います。

湯 うちでやっているYouTubeの再生回数が1億3000万回を突破したんです。釣り業界ではうちが2番か3番目らしい。動画の本数はうちが44000本くらい出してて、日本で4番目なんや。多いときやと1日20万回くらい見てくれてる。でも売上が落ちてるって話や。それをつなげたいんや。やるけども肝心なところ付いてきてない。それじゃあ、意味ないやろって話や。

長 そうですね。今はこのYouTubeを何に結びつけるのが大事ですね。

湯 それがもし結びついたら、なにかが劇的に変わる気がするんよね。



株式会社 釣太郎 HP : <http://www.tsuttarou.co.jp/>

みなべ店 〒645-0003 和歌山県日高郡みなべ町堺677-3 TEL : 0739-72-2110

白浜店 〒649-2325 和歌山県西牟婁郡白浜町富田袋谷1552-2 TEL : 0739-45-4926



## 「書類整理と事務所移転」

長田会計事務所は私の祖父が昭和45年に浪速区難波中で開業し、その後、昭和54年に天王寺区南河堀町へ移転、長く天王寺で事務所を構えていました。天王寺の事務所は居住用マンションだったので、畳敷きの和室にたくさんの広い押入れがありました。本棚や押入れに祖父が開業した当初からの書類がたくさんあり、新しい書類が入るスペースがありませんでした。

平成17年に入所した私が最初に行ったのは『書類整理』です。紙の書類はデータ保存することにしました。データ化にはスキャナーとファイリングソフトを利用しました。スキャナーは紙の書類をそのままデータ化し、手書きの文字もきちんとデータで表示されます。『楽々ライブラリ』というファイリングソフトは書棚にファイルを並べるようにデータで保存でき、書類の検索も簡単です。書類のデータ化、ファイリングのルールも所内で決め、誰が見てもすぐわかるようになりました。

40年近く過ごした天王寺を離れ、平成28年6月居住用マンションから中央区徳井町のオフィスビルに移転しました。大変だろう想像していた事務所移転がスムーズにできたのは、書類のデータ化を進めていたのが大きな要因です。

事務所を移転したのは職場環境の改善とセキュリティー向上のためです。天王寺の事務所は居住用のためパソコンやコピー機を利用するための電力量が足りず、部屋の明かりも暗くなっていました。今思えば仕事をする環境が整っていませんでした。お客様においでいただくにもおもてなし感が乏しく、お迎えする環境でなかったと思います。

今の事務所に移転してからは環境に関する課題解決に取り組み、社内外のコミュニケーションがとりやすい環境となりました。事務所の環境向上は皆がいきいきと働くために必要だと考えています。



## 経営学のさわりのさわり

Vol.7



## 「自社は今、どんな姿でどこにいるのか～SWOT分析～」

前回は、企業を取り巻く環境には「経済的」「政治的」「技術的」「社会文化的」「気候的地理的」な要因があること、その対応として、環境に応じて自分を変えていく「環境適応」と自ら環境を創りだす「環境創造」があるというものでした。環境に的確に対応していく、あるいは先回りするためには、まず自分を知り、相手（環境）を知ることが大切です。

そのため必要なのがSWOT分析（スウォット分析）といわれる分析方法です。

Sは強み（Strength）、Wは弱み（Weakness）、Oは機会（Opportunity）、Tは脅威（Threat）で、SとWは内部環境（自社でコントロールできる）、OとTは外部環境（自社ではコントロールできない）と呼ばれます。

この4つの観点から、自社がどんな姿でどこにいるのかをまず掴み、その後S×O、S×T、W×O、W×Tでのクロス分析を行います。

強みと機会をどう活かすか、強みで脅威をどう乗り越えるか、弱みで機会を逃すのをどう防ぐか、弱みと脅威が重なるリスクをどう回避するか。

クロス分析によって、SWOT分析で出てきた項目を整理し、戦略につなげることができます。





## 未来そぞう塾レポート①



### 『リーダーとは何かを感じるワークショップ』

講師：長田会計事務所スタッフ遠藤悦代

今回は「平和中学校」というワークショップを通して、リーダーとは何なのかを考えました。「平和中学校」とは参加者の4人がそれぞれ授業や先生に関する情報が書かれたカードを複数枚もっており、その情報を口頭で伝えあい、1限から4限までそれぞれどのような授業を受けたのかを推定するワークです。



1人リーダーを決めて進めていきます。リーダーは私、インターン生岡が務めました。

まず、全員がどのような情報を持っているのかを全員で共有する事が先決だと思い、一人ずつ持っている情報を順番に伝えてもらいました。情報を一通り聞きだしていく中で表をつくり、まとめて行こうと考えました。そこで、ホワイトボードに表を書いて皆さんにここには、この先生に入るということを言ってもらいながら表にまとめ、1限から4限までそれぞれどのような授業を受けたのかを推定する事ができました。次にこのワークでのリーダーについてフィードバックを受けました。



良い点として、グループから情報を引き出した、グループ全体として何をするのかの指針立てをした、最終判断の意思決定ができていた。悪い点として、時間を作り気にしていなかった、書記やタイムキーパーなどの仕事を周りに振っていないということをあげていただきました。

僕の中のリーダーはカリスマ性や堂々とした雰囲気のあるイメージでしたが、リーダーは必ずしもそうである必要はないと思いました。リーダーとはグループ全体を目的へと導き、一緒に進んでいく人のことで、その時々によって適切なリーダーは変わるものではないかなと思いました。

僕はリーダーというものにかなり苦手意識がありますが、リーダーシップとは一つのスキルで全員が身につけておく必要があるものだと思いました。僕の場合はまず人を信頼し、任せるということを意識し、リーダーシップを身に着けたいと思います。



## 未来そぞう塾レポート②



### 『生命保険の基礎知識』

講師：株式会社Trust in 筒井知樹氏

昨年に引き続き、保険代理店 株式会社Trust in代表取締役筒井様をお招きして、生命保険の基礎知識講座を開催しました。



今回はインターン生が2人参加したため、まず生命保険と損害保険の違いや、保険にはどんな種類があるのか、基礎から分かりやすく丁寧に説明してくださいました。

「生命保険を売るのは、雨が降っていない日に傘を売るようなものだ。売るときには必要がなく、いざ雨が降って傘が必要になった時には売ることができない。傘の大きさもひとりで入るのか、家族と一緒に入るのか、状況に合わせて変えていくべきだ」という言葉に、自分のライフスタイルに合わせて保険も見直す必要があるのだと気が付きました。

私は保険について深く考えることはなかったのですが、今後のリスクを回避するために保険を加入すると説明されたのを聞いて、何かあった時では遅く、将来を見据えて考えていいかないと感じました。家族の介護や定年後の生活、災害など事前に備える必要があるのだと思いました。

お話の中で印象的だったのは、準備のないまま相続が起きた時に揉めてしまうのは仕方がないというお話です。「5人家族で丸いケーキを切り分けると、いちごののった箇所、のってない箇所、大きい小さいなどどうしても子供たちはケンカになる。大人になったって不揃いなものを分けるときには揉めるんです。」「たしかに！」と一同納得してしまいました。



## 遠藤 悅代

(スタッフ)



夏休みの宿題といえば、私は計画的に進めたことがない、いや、計画を立てようと思ったこともないなあと思い出します。

そして、これは今もあまり変わりません。

ただ、母と「机の前に座る時間」を毎日作ることを約束していました。計画性はありませんが、夏休みの最終日に必死にやったということないので、この時間に宿題をしていたのだと思います。

ただし、夏休み展のための工作だけは、最後の日曜日に父と作っていました。これが唯一と言つていい、はっきりとした夏休みの宿題の思い出です。



## 岡 拓海

(インターンシップ生)



高校の古文の宿題で、竹取物語などの原文と現代語訳、文法知識をノート1冊分書き写すという地獄のような宿題がありました。ノート一冊古文を埋め尽くせという無茶な要求に驚き、1年生のときは何かの間違いかと思いました。

しかも夏期講習という名目で学校に来させて、本当の夏休みは3週間くらいだったと思います。

地獄といいつつも、3年間先生の国語教師からの督促をくぐり抜け一度もやっていないので、本当の地獄を見たわけではありませんが…。

## 長田会計事務所の○○なコト

### 今月のお題：

「夏休みの宿題といえば」

来月のお題は、「おすすめの映画といえば」です。



## 望月 彩愛

(インターンシップ生)



夏休みと宿題といえば「日記」です。

以前、実家から母が小学生のときに書いた絵日記が見つかり読んでいたのですが、字体と絵心の無さが私とほぼ一緒で「親子だなあ」と爆笑しながら読みました。

私は文章を書くセンスがあまりないので毎日書くネタに苦労していましたが、ディズニーや水族館に行った日は3ページくらい日記を書いて、先生から「今日は長いですね」と書かれたものです(笑)



## 木下 心路

(インターンシップ生)



小学生の頃はわりと真面目に、少なくとも夏休みの終わる三日前には課題を全て終わらせていました。

ところが中学生になると、8月31日の夜中こつそりと机に向かい、必死に課題を終えるという人間になり果てていました。当時の友人たちも同じような性質で、SNSでお互いの進捗を確認しながら取り組み、翌朝学校で顔を合わせれば睡眠時間の報告をし、できたてほやほやの宿題を先生に提出していました。

そのせいか課題を深夜にやる癖がついてしまい、三つ子ならぬ中三の魂百までといった感じです。

## 豊の部屋



地震で延期されていた元スタッフの送別会にて。  
いつもどおり絶好調！



## 今月のおやつ



岡山名物きびだんご。  
スタッフが帰省するたびにいつもお土産に買ってきてくれます。  
毎回すぐ売り切れちゃいます。

## 編集後記

インターンシップ生で編集部員の木下です。独自の発行の通信が好きでアルバイト先で映画についての通信を手作りしていると伝えましたら、先月号から編集に参加させていただくことになりました。

編集部での仕事は主に紙面の構成をこじらせてもらっています。ゆくゆくは手描きのイラストを持ち込みたいと思っています。まだ慣れが必要な段階なので、これから頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

